

No.	A04
タイトル	人々が集う地域の森林資源を使った建築・まちづくり
所属・名前	株式会社竹中工務店 小林 道和
キーワード	① 森林サイクル ② 都市の木造・木質化 ③ 耐震・防耐火
<p>戦前・戦後の国内森林の乱伐から豊かな森を取り戻すために、政府は森林保護政策や木材輸入の解禁、都市・大規模木造の規制と鉄筋コンクリート造建物等の普及・促進の施策を進めてきた。これらの取り組みにより、約半世紀の間に森の木々が育ち、現在では 49.0 億 m³ の森林資源が蓄積されている。しかし一方でこの間、多くの外国産木材の輸入が増加したことで、国産木材の市場と林業が縮小し、森林整備の担い手不足により森の荒廃が始まっている。国土の約 7 割を占める森林の維持保全のため、木材需要創出の手段として非住宅の木造化・木質化が提唱され、弊社はその課題であった防耐火技術と木材を使った大規模建築の耐震化技術の実用化により都市空間の木造化・木質化を実現してきたところである。</p> <p>本稿では、都市部の建築や大規模建築の木造・木質化を実現した防耐火技術と直交集成板 CLT を用いる耐震補強技術、その適用事例を概説し、森林資源を取り入れた建築・まちづくりと空間に対する地域の人々の意識調査の報告を行う。さらに非木造建築の木造・木質化による森林資源・木材需要の増加量、経済効果等についての試算と考察を行う。最後に森林資源を使ったコンパクトシティを形成する上での今後の課題を抽出する。</p>	